

2024年5月のブルーベリー農園その3

東広島市豊栄町のブルーベリー農園では、ウノハナが開花し里山の林の中でホトトギスが鳴き農園のブルーベリーは若葉が茂り、ネムノキの枝にも若葉がわきだす初夏

の景色となっている。童謡「夏は来ぬ」の歌詞どおりの様子。20日の農園の気温は28度まで上がった。でも日差しは真夏ほどではないので木陰は涼しい。ブルーベリーの剪定作業も全体の8割がすんでもうひと踏ん張りなのでラストスパートの気分で安芸区の自宅から通っている。そして、5日間かけて農園の家のトタン屋根の塗装が完了したので当分安心。



5月14日(火)

ブルーベリー畑の草刈りと剪定作業を続ける



5月17日(金)

これまでで一番太いブルーベリーの根元の幹と出会う。足首よりも一回り大きい。丈夫そうなので根元から切らないで50センチくらい上で切って枝の更



5月19日(日)

花壇のジャーマンアイリスが満開



ブルーベリー畑にはアヤメも咲いている。花壇でできた種を畑に適当にまいたのでそこから生えたらしい。ブルーベリー畑にはいろいろな花が咲いたほうがミツバチが来やすい

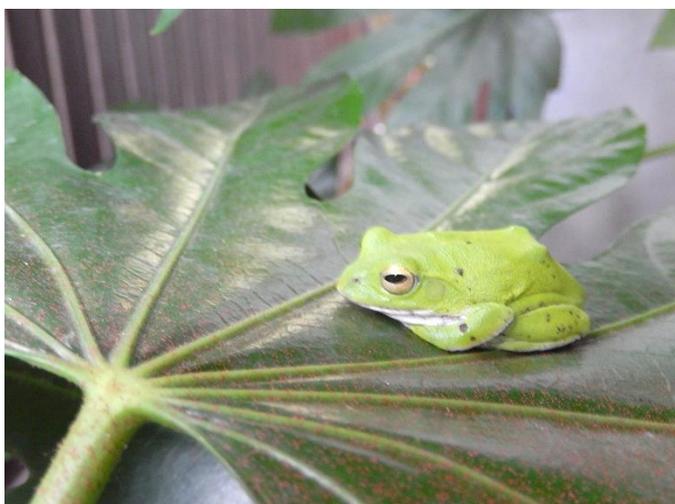


初夏の様子

① 里山ではシライトソウが白い穂を出して咲いている



② 里山でウノハナ (ハコネウツギ) の一番花が開花。
1輪でもいい香りがする



③ 庭のヤツデの大きな葉の上に座るアマガエルはふっくらした体形



④ トンボ (名前知らず) は人の気配を感じると、とまっている場所を変える

《2024年4月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに

掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



一輪だけのバラ

① 花壇でひしめき合う他の植物にまじって花開く



② 大きな八重のツバキの下で花開く



農園の家は茅葺の屋根の上にトタンをかぶせている。
連休明けに業者に依頼して塗装を行った。色はこげ茶。
これで当分雨漏りは防げるので安心

2024年5月23日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良